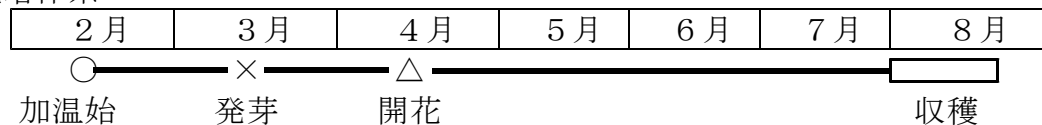


【経営の概要】

作物：ぶどう（マスカット・オブ・アレキサンドリア）

作型：2月下旬加温（330㎡）

栽培体系



【対策の内容】

- 1 木を細かく粉碎して圧縮形成した固形燃料である木質ペレットを燃料としたペレットストーブを加温ハウスに導入し、A重油暖房機と併用することでA重油の使用量を削減し、加温燃料費の軽減を図る。
- 2 ハウスの内張パイプを低くし、加温容積を少なくする。
- 3 ハウス内側側面に保温資材（ポリエチレン製気泡シート）を設置する。



稼働中のペレットストーブ

【対策の実践効果】 ※加温開始は平成19年は2月15日、平成20年は2月24日

	取組前（A）※ ¹	取組後（B）※ ²	B/A
燃料の種類と使用量	A重油：4,190ℓ/330㎡	A重油：2,800ℓ/330㎡ 木質ペレット：1,160kg/330㎡	A重油 66.8%
加温に係る燃料経費①	261,037円/330㎡	281,000円/330㎡ (うちペレット燃料経費：29,000円/330㎡)	—
対策に係る追加経費②	—	62,833円 { ペレット暖房機300,000円/5年 エコポカフチ8,500円/330㎡/3年	—
①+②	261,037円/330㎡	343,833円/330㎡	131.7%

※^{1,2} A重油価格：取組前（H19）：62.3円/ℓ、取組後（H20）：90円/ℓ

※ハウス改造により容積が約8%縮小

【今後の課題】

今回利用したペレットストーブの燃料である木質ペレットは安価であるが、ペレットストーブは加温能力が小さい。そのため小型ハウスの暖房補助として利用されているが、加温能力が高いペレットボイラーが手頃な価格で導入できるようになることが望まれる。また、ペレットボイラーの普及には、燃料である木質ペレットの安定供給が課題である。

普及指導センターでは、省エネルギー対策を推進しているが、燃料費に加え、資材、肥料等が値上がりしているため経営費全体を抑制する対策が求められている。

【問い合わせ先】

岡山県備前県民局農林水産事業部東備農業普及指導センター

電話：086-992-5177

